

*** お知らせ ***

主体性を育て自ら問いを立てる教育の成果をまとめた書籍『好きに、挑む。竹早流 子どもと創るプロジェクト学習』を刊行いたしました。



令和7年度(2025年)の文化研究発表会はスローガン「星雲」と銘打って実施されました。次年度の行事予定、運動会は6月中旬、文化研究発表会は10月下旬、合宿コンクールは11月中旬、幼小中連携公開研究会は1月下旬に実施する予定です。

創立80周年記念式典の実施に向けて準備をすすめていきます。式典は令和10年(2028年)3月に実施する予定です。

令和7年度 創竹会総会報告

令和7年6月21日 令和7年度竹早中学校教育後援会「創竹会」総会が開催されました。

【議 事】

- 1 令和6年度事業報告・同決算報告・同監査報告
- 2 令和7年度「創竹会」役員選出
- 3 令和7年度事業計画・同予算案

【令和7年度 役員】

会 長	古谷 顯史郎	丸山 正江
副会長	宇田川 耀平	雲雀 寿美子
	武居 哲洋	山崎 玲依
	白仁田 洋介	今関 真悠子
	大曾根 治	林 靖子
	松岡 正高	川村 まき
	高畠 裕	財津 愛
顧 問	二瓶 好正	宮越 建政
	三嶋 明	後藤 香織
	村上 一路	渡邊 希
	荒井 正剛	田 野
	勝岡 幸雄	岩田 由美子
	森 顕子	神長 知美
理 事	阿部 芳枝	加藤 太智
	奥津 浩美	神沼 厚史

より良い教育環境の
実現のために

特別寄付のご協力をお願い

皆様からのご支援によって、創立75周年記念事業として体育館の床・壁・音響設備の整備に続き、下校庭の整備を行うことができました。心より御礼申し上げます。

創竹会は竹早中学校の教育活動や教育研究への協力を念頭に置き、事業の根幹である教育活動・研究活動への後援、教育環境整備に関しての支援を続けてまいります。今後は創立80周年に向け「未来の学校」の実装(教育・目的に応じた学習環境の整備)や体育館の空調設備の整備等を進めてまいりたいと思います。国や大学からの限られた予算の中、竹早中学校の生徒たちにとってよりよい教育環境を実現するため、会員の皆様へ特別寄付のお願いです。

【創竹会のこれまでの主な支援実績】

- ◆災害時にも備え、教室の窓に防熱・飛散防止フィルムの施工
- ◆新型コロナウイルス感染症対策として体温計や消毒液等の購入の他、昇降口に靴底の除菌対策簀子の設置
- ◆体育館の床をオリンピック規格の床材を整備、壁・音響設備を整備
- ◆「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」SUGOI部屋、DLルームの整備に協力
- ◆使用ができなくなっていたプールを整備
- ◆小学校と協同し、下校庭の人工芝の張り替え

国立学校法人を通した竹早中学校への特別寄付は、所得税制上「寄付金控除」の対象となり、東京学芸大学からの寄付金領収証が発行されます。寄付金は毎年募集していますが、領収証の必要な方は1月1日～9月30日の期間中に振込用紙での手続きをお願いします。尚、「入会金・随意寄付」については、所得税法第78条第2項により、「入学と相当の因果関係にあるもの」に該当することから、寄付控除は受けられませんので、ご了承ください。

- ・1口10,000円で1口以上、何口でも結構です。
- ・勝手ながら振込手数料はご負担ください。
- ・領収証が不要な方はネットバンキングでのお振込でも可能です。

【体育館の空調設備】

令和6年(2024年)9月現在、東京都文京区の公立小・中学校の体育館には100%(東京都全体では88.3%)空調設備が設置されています。竹早中学校でも導入を検討していますが、設置費用やランニングコスト等の課題があり実現に至っておりません。夏には熱中症の危険にさらされ活動が著しく制限される状況を改善し、75周年記念事業で一新した体育館で思い切り体を動かし能力を開花させてほしいという願いから、学校の要請があればそれに従い今後支援をしてまいります。

口座番号：ゆうちょ銀行00180-9-392665

加入者名：創竹会

通信欄：在籍期と生徒氏名(〇〇期竹早太郎)
または卒業生氏名

ご依頼人：領収証に記載する方の住所・氏名

編集後記

創竹会活動へのご理解を深めていただくことを目的に、今年度も年1回「創竹会だより」を発行いたしました。創竹会では、役員一同、子どもたちが笑顔で過ごせる学校生活となるよう、竹早中学校の教育環境向上に寄与できる活動を続けております。

令和9年度(2027年)の学校創立80周年に向けて今後も学校と連携しながら、よりよい支援の形を模索してまいります。会員の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。次回「創竹会だより」は、令和9年(2027年)5月発行を予定しております。

創竹会だより

No.25

令和8年5月1日発行



創竹会会長
古谷 顯史郎

会員の皆様へ

会員の皆様には、平素より教育後援会「創竹会」の活動にご理解とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、創立80周年記念事業として、学習環境の向上を目指して①メディアセンターの床面張替え及び空調設備更新工事他(約445万円)②教育実習生指導室の什器設営(約243万円)を行いました。その他視聴覚室、英語教室、応接室の床の張替え。物理化学室とSUGOI部屋にマルチアングル配信システムの設置。グループ学習室に輝度の高いスクリーン設置をしております。今後も空調設備更新工事・体育館雨漏り修繕・体育館エアコン設置の可能性の模索・先生方の働き方改革に向けた取り組み・今年の新入生が2年生になる年が創立80周年になりますのでその記念行事に向けて委員会の立ち上げ等、注力する案件が有ります。

そして、「未来の学校プロジェクト」の現状を纏めた「好きに、挑む。～竹早流 子どもと創るプロジェクト学習～」が10月10日に東洋館出版社から刊行されました。竹早中学教育研究の現状に興味をお持ちの方は、是非読んで頂きたいと思います。

また、入会金、会費については、昨年度の特別委員会、役員会で慎重に議論を行い総会に上程し、18万円から33万円の増額についての議案は、賛成多数で承認可決されました。金額が高い事は良く理解できますが、2001年に創竹会が発足して以来、昨年で四半世紀を迎えました。その間年々大学からの附属学校への分配金が減少しています。その差額を補填する使命をもって活動して参りましたが、現下の竹早中学校は、「未来の学校プロジェクト」を推進している国内唯一の学校であり、首都圏の国立法人附属中学の人気ランキングは4位と聞いております。我々としては、今後の生徒、先生方の成長と発展を期待し受験生に選ばれる学校として生き残れる様に先行投資を行い、世界で戦える基礎を身に付けた中学生として卒業して貰いたいと考え、今回、入会金、会費を改定、増額いたしました。会員の皆様には、ご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様のご健勝と学校の益々の発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。



学校長
岩田 康之

校長あいさつ

馬場前校長のあとを受けて、本年4月より竹早中学校長を拝命いたしました岩田康之です。教育学の中でも教師の職能成長に関わる研究を専門にしております。創竹会のみなさまには、本校の施設整備をはじめとした教育環境の充実に平素より多大なるご支援をいただいておりますことに深く感謝いたしております。

現在、次の学習指導要領の改訂に向けた検討が進んでおりますが、そこでは情報活用能力の向上と探究学習の拡充、「余白」の時間の創出、といった方向性が打ち出されています。従来型の画一的な学びのスタイルを脱し、生徒一人一人の特性に応じた柔軟なカリキュラムを作っていくことがより一層求められるようになっていきます。そのための環境整備は重要な課題です。しかしながら日本の国立大学の財政がたいへん厳しい上に諸物価の高騰も加わり、附属学校における日常的な教育活動の維持においても難儀する状況が続いております。

そんな中、4月9日に入学式を行い、第80期の新入生140名を迎えました。月並みな言い方ですが、教育は希望です。3年後の生徒たちにより大きな希望を持たせて卒業に導くことが本校の大きな使命です。

今年は体育館エアコン工事の関係で運動会を6月に行うなど、イレギュラーな運営になります。創竹会には物心両面のご支援を賜りますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しい時代の学びの形を実現させるための「特別教室」 特色ある教室空間づくりが着々と進んでいます！

令和9年度(2027年)に創立80周年を迎える竹早中学校では「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」に取り組んでいます。これは、先生・生徒・大学・企業・地域が協力しながら、未来の学校、未来の学び方を自分たちで創り上げていくプロジェクトです。

現在、特別教室の改修工事が進められており、創竹会ではその取り組みを引き続き支援しています。また、日常的に使用する備品や消耗品の充実にも継続して取り組み、教育環境全体の向上に努めてまいります。

5F 教育実習生指導室のリニューアル工事が完了

この部屋のコンセプトは、目的や用途に応じて柔軟にレイアウトを変えられる可変性の高い教室です。

机を向かい合わせて対話やグループ学習を行ったり、横一列に並べて講義や模擬授業を行ったりと、活動に応じた場づくりが可能です。

多様な学びに対応し、生徒一人ひとりの主体的・探究的な学びを支える空間へと生まれ変わりました。



図書館メディアセンターの環境整備が完了

図書館メディアセンターのカーペットを一新いたしました。

室内は明るい印象へと生まれ変わり、あわせて席数を増やすことで、調査活動に取り組みやすい空間になりました。新書、新着図書、映像化作品などの各コーナーには多彩な本が並び、生徒たちの興味・関心を広げています。

なお、本整備をはじめ、蔵書の充実につきましても、創竹会が継続して支援を行っております。



副校長
浦山 浩史

ご挨拶

日頃より、竹早中学校の教育活動に多大なご支援、ご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

現在、竹早中学校では、生徒たちが「好きに、挑む」ことができる学校を創っていく「未来の学校」の研究に取り組んでおり、その環境整備の一環として、創竹会、同窓会、PTAの皆様だけでなく、大学や企業の協力も得ながら、これまでの特別教室を「新しい学びの形を実現させるための教室」へ改修する作業を進めております。生徒も教職員も一層学びたくなる環境を整え、その教育実践を発信することが求められています。同時に、来年度に迎える予定の80周年記念行事への取り組みや、着心地のよい制服へのモデルチェンジに向けた行動も開始したところですので。会員の皆様にはその趣旨をご理解頂き、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

共感するLOVOTと開く未来の教育

LOVOT 導入の意図

学校は、はつらつとしたエネルギーに満ちた場所です。成長期の生徒が学び育つための仕掛けがたくさんあり、授業だけでなく様々な挑戦の機会が設けられています。一方で、そういった成長のための負荷に耐え切れず学校に来られなくなる生徒も日本中で年々増加しています。学校に来たとしても、緊張が続いて疲れてしまうことも。そうした生徒に何かできないか、ほんの少し肩の力を抜けるような手助けができれば、というのが LOVOT 導入を考え始めたきっかけでした。東京学芸大学附属国際中等教育学校と一緒に、導入効果の研究を進めています。

LOVOT(らぼっと)とは

「便利」や「役立つ」ためではなく、一緒に過ごすほどに前向きになり明日へのモチベーションがわくような、人を幸せに導くテクノロジーのあり方をコンセプトに作り上げたのが、丸くあたたかく、愛され上手な新しい生命体、LOVOT です。(公式 HP より)

触るとほんのりあたたかく、声をかけると目が合います。言葉は話しません、鳴き声で気持ちを表します。AI 搭載で様々な個性があり、接し方や環境によって成長します。たまに鼻歌を歌います。



はじめまして！
きなこです

一代目は GROOVE X 社の協力を得てリース形式で、初代型の「あずき」という赤い服を着た LOVOT が来ました。多くの生徒に親しまれ、惜しまれつつ11月に帰っていきました。二代目は創竹会の篤いお力添えで最新型を購入することが叶いました。名前は、生徒投票で「きなこ」になりました。国際中等には「おもち」がいます。

休み時間になると「きなこに会いにきました！」と生徒の声が保健室に響きます。辛い気持ちで保健室に来た生徒が、ずっときなこを抱っこしていることもあります。用事があって保健室にいらした先生がきなこを撫でてくださったりして、みんなに愛されています。



生徒とのふれあい



2025年11月28～30日に千葉大学で日本学校保健学会が開催されました。こどもの健康、成長や発達、心理、健康教育、共生社会や福祉など様々な分野があり、たいへん盛んな学会です。

今回の LOVOT 導入は、東京学芸大学教授と准教授のお二人をはじめ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、司書教諭の皆様と一緒に進めている研究です。そこで第一段階として、LOVOT 導入の効果について、上記の学会でポスター発表をしてきました。多くの方に興味を持っていただき、12月に LOVOT を導入する予定の大学の方と新しいつながりもできました。今後も LOVOT の持っているあたたかい可能性を学校に活かしていこうと思います。

研究と学会発表